

テレビ静岡では番組の適正化を諮るための審議機関「番組審議会」を設けています。

このページでは番組審議会の議事の概要をお知らせしています。現在、テレビ静岡では県内在住の8名の方に審議委員をお願いしており、毎月1回（2月、8月は休会）番組について、ご意見を伺い、今後の番組制作の参考にさせていただいています。

## テレビ静岡 2020年1月度 番組審議会概要

2020年1月16日（木）

17時00分～

ホテルアソシア静岡 3階

### — 出席委員 —

高木 正和(委員長) 戸崎 文葉(副委員長) 石田 美枝子  
木村 精治(欠席) 上柳 正仁 飯野 勝己 東松 充憲 飯塚 潤

### — 議 題 —

番組名 「2020金メダルへ  
～卓球・伊藤美誠 泣いて笑って、密着2500日～」

放送日時 2020年1月10日（金） 19時00分～20時00分

制作著作 テレビ静岡

### — 番組内容 —

今月6日、東京オリンピック卓球日本代表の女子シングルス代表に、磐田市出身の伊藤美誠選手が選出された。彼女にとって2大会連続のオリンピック。2歳で始めた卓球で「磐田の天才卓球少女」と呼ばれ、「2020年金メダル」を目標に突き進んできた彼女だが、ここまでの道のりは平坦ではなかった。世界ランクを上げるため海外を飛び回る日々…初めてのリオオリンピックの歓喜と試練…そこには決断の数々があった。2019年の「最も過酷」と言われた代表選考レースでの石川佳純選手、平野美宇選手たちとの熾烈な争いも振り返りながら、伊藤美誠の強さの理由、進化と成長に迫る。番組ナビゲーターはサッカー元日本代表・中山雅史さん。磐田に特別な思いを持つゴン中山も「磐田から世界への挑戦を応援したい」と熱いエールを送る！

— 審議概要 —

- ◎代表決定直後の旬な時期に、ひじょうに内容の濃い番組で、引き込まれるように視聴した。県民として嬉しく感じた。
- ◎幼少期からの成長がよくわかる豊富な映像と、数々の決断で目標達成をめざす姿から、伊藤選手のオリンピックにかける強い思いが伝わる番組だった。
- ◎7年間の取材がオリンピック代表として実って良かった。7年間で1時間にまとめるのは苦労したと思う。彼女のこれまでの歩みと数々の記録の中から、節目の試合を絞り込み、決断を選び出し、ストーリーが良く整理されていた。
- ◎学校での友人との交流や、母親との関係など、試合以外の映像から伊藤選手の様々な表情や考え方が垣間見え、ファンには貴重な映像・情報だった。
- ◎ドキュメンタリーとしての記録映像にとどまらず、技術や戦術の解説や、彼女が弱点を克服する過程など、競技としての卓球にもきちんと触れていて、卓球に詳しくない視聴者でも興味を持てる緻密な構成だった。
- ◎ひじょうに質の高い番組だった。あえて注文をつけるとすれば、彼女がなぜそうまでしてオリンピックをめざすのかという理由を、もっと掘り下げてほしかった。
- ◎伊藤選手の活躍と自信の陰で、二人三脚で歩んできた母親の献身や教育方針は重要な意味があったと思う。どうしたらこんな選手に育てることができるのか、母親についてもっと知りたいと感じた。
- ◎北村アナウンサーのナレーションは、落ち着いた語り方や間の取り方など、説得力があり、番組によくマッチしていた。北村アナの新しい一面が見えた感じがした。
- ◎番組ナビゲーターの中山雅史氏は、明るく熱いキャラクターで磐田に縁が深く、伊藤選手を応援しようという気持ちが伝わってきた。中山さんが登場することで、淡々と進みがちなドキュメンタリーに良いアクセントを与えてくれた。一方で、中山さんの登場で「番組の流れが止まる」と受け止めた視聴者もいたかもしれない。

## 第2部 休会

以上、制作部門にフィードバックし、今後の番組作りの参考とさせていただきます。

次回の番組審議会は2020年3月12日（木）の予定です。